資料３

杉並区
平和施策に関する
区民懇談会（第1回）

令和8年11月2日（月）
午後6時30分～午後8時30分



平和のシンボル
「アンネ・フランクのバラ（高井戸中）」

開会あいさつ

区民生活部長
寺井　茂樹

自己紹介

お名前と、平和に対する思いを
簡単にお願いします。

※ お一人1分以内でお願いします。

議　事

テーマ
「平和とは何か　杉並の平和施策を考える」

1　懇談会の趣旨と目的

平和をめぐる状況と杉並区のこれまでを踏まえ、今後の平和施策の方向性を考えます。

平和をめぐる状況

世界各地で戦争や紛争が続き、核兵器の脅威が依然として存在する中、平和は遠い国々の問題ではなく、私たちの日常や地域社会とも深く結び付いた課題となっています。

杉並区のこれまで

区は、原水爆禁止署名運動発祥の地として、また平和都市宣言を掲げる自治体として、戦争体験や被爆体験の継承に取り組んできました。

今後の課題

戦争体験者の高齢化や、平和をめぐる現状を踏まえると、「戦争の記憶の継承」に加えて、若者が当事者意識を持って平和について考えることが課題となっています。

杉並らしい平和文化をつくるために

2　懇談会で大切にしたいこと

安心して意見を出せる対話のための共通ルールです。

① 結論ありきにしない

特定の考え方や結論を前提とせず、幅広い意見を受け止めます。

② お互いを尊重する

お互いの意見に耳を傾け、様々な立場や価値観を尊重します。

③ みんなが発言できるようにする

限られた時間の中で、できるだけ多くの方が意見を出せるよう、発言が長くなりすぎないように心がけます。

④ 差別的な発言はNG/政治的な発言は控える

差別・人権侵害・偏見に基づく主張はNG。
特定の政党を批判することなどは控えましょう。

3　本日の全体の流れ

今日の進め方を、3つの段階で確認します。

1　知る

・「平和」の捉え方と区の取組

・区民アンケートなどの結果

2　考える

・区と区民が目指す平和のかたち

・区と区民がともに何ができるのか

3　整理･共有する

・出された意見を整理

・課題認識を共有

・次回の検討会につなげる

今日のゴール：
意見を一つに決めるのではなく、課題と方向性を見える形にする

4「平和」の捉え方と区の取組

「平和」は、戦争や紛争がない状態だけでなく、広義の捉え方もあります。（狭義の平和と広義の平和）

狭義の平和

戦争や紛争がない

戦争、紛争、テロ、暴力など

- 平和学習中学生派遣事業
- すぎなみ平和マップ
- 平和のつどい（展示）
- 被爆者（杉並区在住）証言記録映像
- 平和出前授業

広義の平和

人権が尊重される

差別、いじめ、虐待、権利の侵害など

- ジェンダー平等への理解を深める啓発・相談
- スクールカウンセラーの配置など

貧困の解消

- 自立相談支援事業の実施
- 引きこもり支援事業の実施など

安心して子育てができる

- 「杉並区子どもの権利条例」を踏まえた子どもの権利保障
- 学童クラブの整備・充実など

犯罪が起こりにくい

- 防災パトロール・環境美化活動等の実施
- 防犯カメラの設置など

災害に備えがある

- 木造住宅密集地域等の解消に向けた不燃化促進
- 感震ブレーカーの設置支援など

違いを認め合える

国籍、文化、世代、考え方や価値観の違いなど

- 国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発
- 文化芸術活動助成など

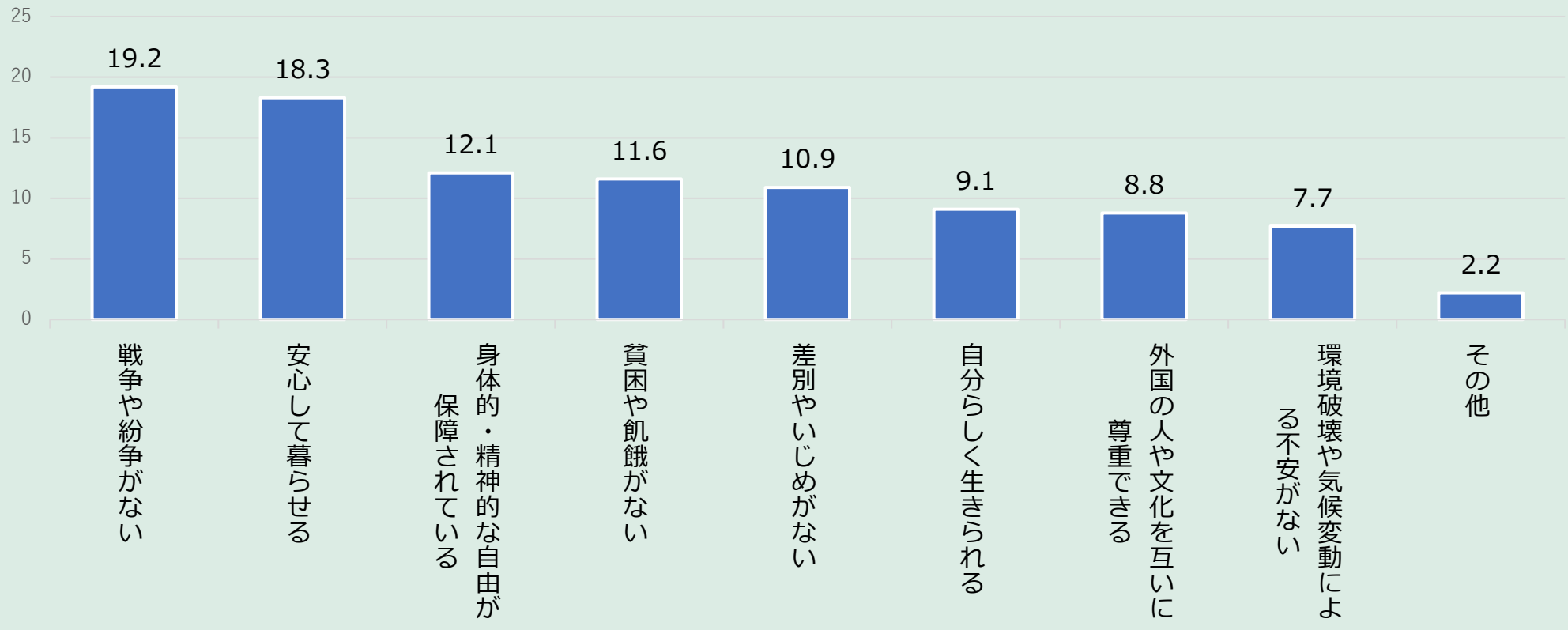
広義の平和を取り巻く課題には、区の様々な部署で取り組んでいます

5　区民アンケートと聴っくオフ・ミーティングから見えること

＃区民アンケート

結果①　概念・考え

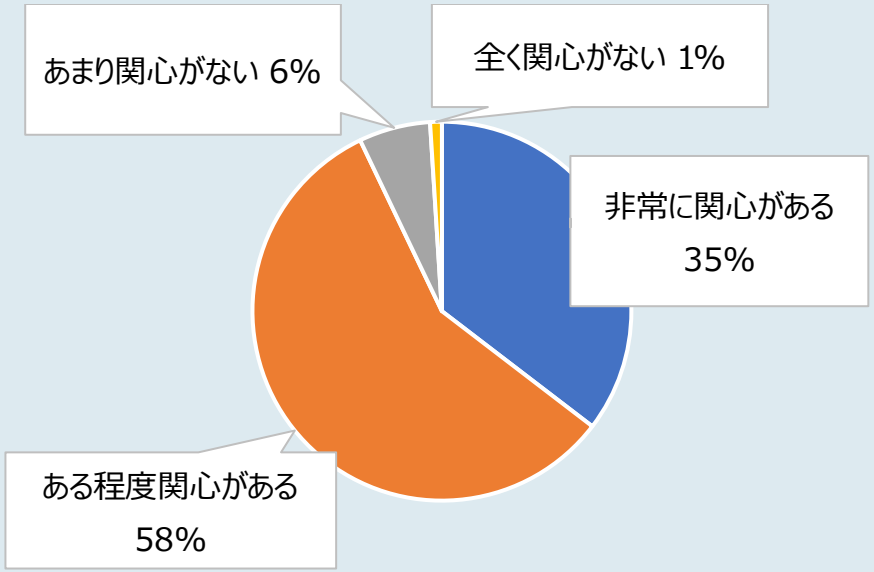
平和にはさまざまな意味がありますが、あなたにとって平和とはどのような状態だと思いますか。（複数回答可）



＃区民アンケート

結果②　関心・意識

あなたは戦争や平和について関心がありますか。



「非常に関心」「ある程度関心」を合わせて、９０%以上

結果③　区への期待

【自由記述の主な意見】

1　**最も多かったのは「学校教育の充実」**

2　**「体験」と「現地学習」の重要性**

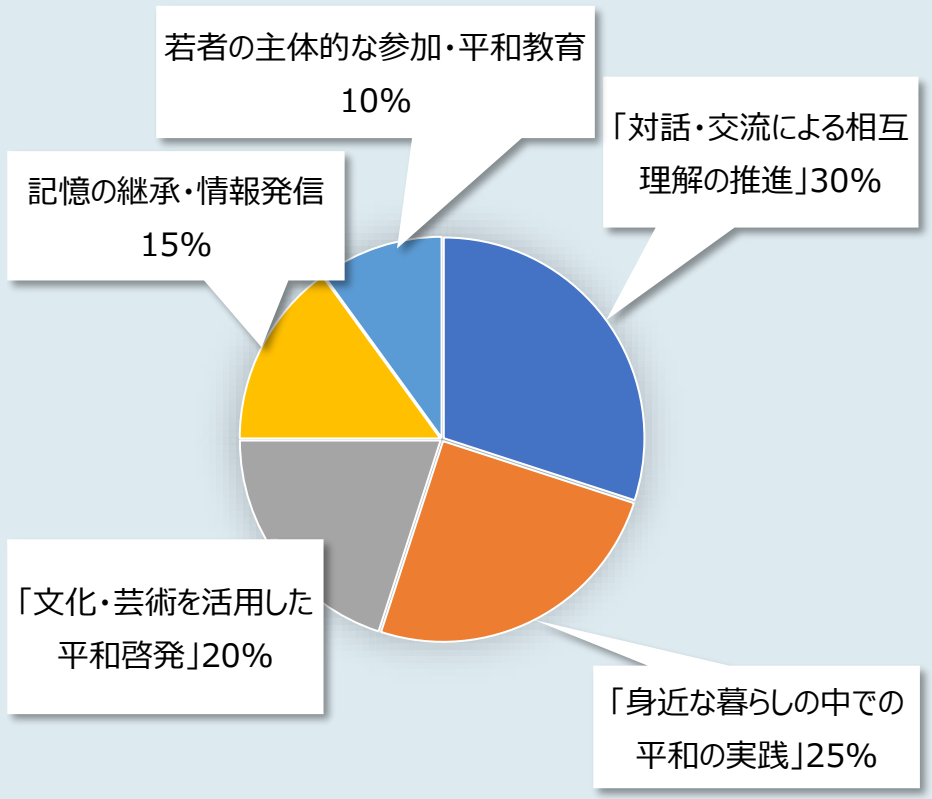
3　**「区の平和事業を知らなかった」が非常に多い**
→若い世代への発信方法の見直しなど

4　**平和を広く捉える意見**
→「戦争がない」「安心して暮らせる」など

5　**行政の平和事業への慎重な意見も存在**
→平和事業の必要性を認めながらも、政治的中立性の確保や費用対効果、防災・福祉施策との優先順位の視点から慎重な意見も見られた。

＃聴っくオフ・ミーティング

参加者意見の分類別集計



主な意見

1　対話・交流による相互理解の推進

・戦争や平和について自由に意見交換できる場を増やす。
・国籍や立場を超えた対話や交流を通じて相互理解を深める。

2　身近な暮らしの中での平和の実践

・平和とは戦争がないことだけでなく、人権や尊厳、多様性が尊重される社会である。

3　文化・芸術を活用した平和啓発

・音楽、映画、アニメ、演劇などの文化・芸術を活用し、平和への関心の間口を広げる。

4　記憶の継承・情報発信

・平和について語り続け、発信し続けることが大切である。

5　若者の主体的な参加・平和教育

・知識を学ぶだけでなく、自ら考え行動する平和教育を進める。

6　意見交換と整理

平和の捉え方や区の取組、区民アンケート、聴っくオフ・ミーティングの情報を参考としながら、区と区民が目指す平和のかたちや区と区民がともに何ができるのかを考えます。

1

出す

一人ずつ順番に意見を出し、短く説明する

2

まとめる

意味が近い意見をグループ化する

区と区民が目指す平和のかたちとは？

3

考える

「区と区民が目指す平和のかたち」を実現するために、「区と区民がともに何ができるか」の視点から考える

区と区民がともに何ができるか？

※ 意見を一つにまとめるのではなく、杉並区として取り組めることを考えます。

7　懇談会の今後の流れ

懇談会での意見に、区民や傍聴者の意見を重ねながら、平和施策の方向性を整理していきます。

第1回（本日）

意見交換を通じて、「区と区民が目指す平和のかたち」や「区と区民がともに何ができるか」を整理

意見・課題の整理

第2回（2027年1月末頃）

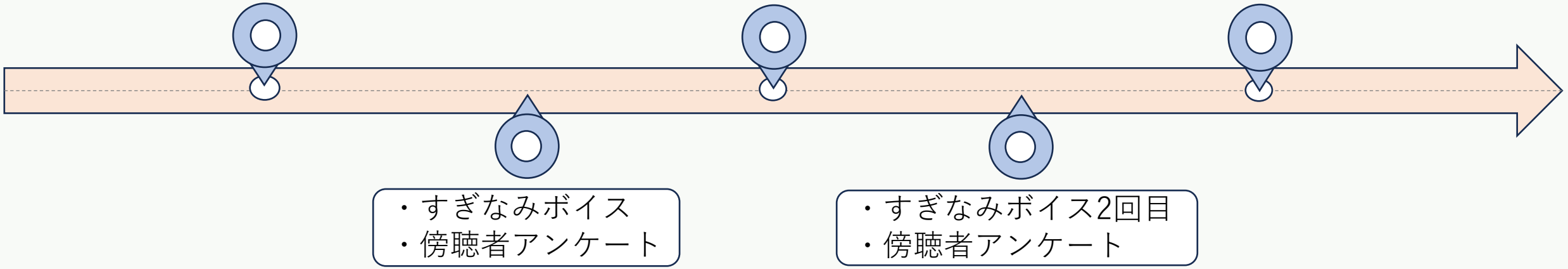
「すぎなみボイス」での意見や第1回懇談会を傍聴した方のアンケートを加えて議論

今後の方向性（中間整理）

第3回2027年5、6月頃

「すぎなみボイス2回目」での意見や第２回懇談会を傍聴した方のアンケートを加えて議論

「杉並区平和施策に関する意見まとめ」



・すぎなみボイス
・傍聴者アンケート

・すぎなみボイス2回目
・傍聴者アンケート

懇談会の意見 ＋ すぎなみボイスの意見 ＋ 傍聴者アンケート

本日はありがとうございました

皆さまからいただいたご意見を、
今後の検討につなげていきます。

引き続き、よろしくお願いいたします。